



2006 年 11 月

No.001 (創刊号)

発行日 2006年10月20日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境政策課
Tel.049-224-8811 Fax.049-225-9800
E-mail kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net>

今月の主な記事

「月刊 かわごえ環境ネット」がめざすもの……………	1
「アースデイ・イン・川越・2006」会場レポート……………	2
第13回 仙波河岸史跡公園自然観察会及び保全活動……………	3
川越市における環境行政の動き……………	4
活動報告……………	5-8
おしらせ……………	8-10

「月刊 かわごえ環境ネット」がめざすもの

埼玉県川越市における市民、事業者、民間団体、行政が参加する環境推進組織「かわごえ環境ネット」は、2000年8月の創立から6年を経過し、川越市の望ましい環境像の実現のため、さまざまな活動を行ってきました。その中でも、広報活動は、当会の設立時から重要な機能を果たしてきました。

さて、このたび、2000年12月に創刊して23号発行した「かわごえ環境ネット会員通信」は、2003年7月に創刊して50号発行した「かわごえ環境ネット メールニュース」と統合して、新たに「月刊 かわごえ環境ネット」として再スタートを切りました。

これまでの広報は、「会員通信」という名のとおり、会員向けに情報を伝えるという位置づけが強かったのですが、これからは、かわごえ環境ネットの活動及び当会会員の活動を積極的に内外に伝え、情報発信メディアとしての立場を明確にしていきます。

そのために、これからは毎月発行を行っていきます。広報体制が不十分なところでの見切り発車となり、見苦しい点が多々あると思いますが、会員通信の記録性と、メールニュースの速報性を合体させて、インターネットとも連動させながら、多くみなさまが利用し、参加していただける情報をお伝えしていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之

■「アースデイ・イン・川越 2006」会場レポート

概要

「ふっとばせ！地球温暖蚊！」と刺激的なコピーを会場入口の扉に張った「アースデイ・イン・川越 2006」が、10月1日（日）に鏡山酒造跡地で開かれました。「世界の人々と力をあわせて地球環境を守ろう！」をテーマに多彩な行事が繰り広げられました。

会場入口からは、川越ワイズメンズクラブの「焼き芋」の甘い香りがただよい、大正蔵入口では生活クラブ生協川越支部の「とん汁」コーナーが来場者の人気を誘っていました。

屋外ゾーンは昭和工業の屋上緑化や太陽光発電が展示されていましたが、曇り空で発電の調子はいまひとつでした。初雁興業は壁面緑化やアオコ対策、川越緑のサポーター、川越巨樹・古木の会による年輪数えや木工などの親しまれる催しが続いていました。ボーイスカウト隊も揃いの制服で、国際交流展示やエコキャンプデモなどの活動をしていました。

屋内展示は、かわごえ環境ネット会員の環境ゾーンの大正蔵、隣は国際ゾーン、事業所ゾーンと eco-mode あふれる楽しい会場でした。また、パフォーマンスとして日本伝統のお琴と尺八の演奏、フォルクローレコンサート、バンフルートとギターの演奏、トリニダード・トバゴのリンボーダンスなどが繰り広げられ、文化交流が生まれました。

環境ゾーンの展示内容

環境ゾーンは、入口に環境政策課の地球温暖化対策の節電啓発や緑化パネル展示、社会環境部会の環境家計簿とプラ容器包装分別テストや自然環境部会の小畔川の魚の水槽などがあり、かわごえ環境ネットの「のぼり」も人目をひき、会の存在感を示しました。

小江戸ケナフの会は、地球温暖化防止パネル展示、手漉き葉書など、ネットワークかけはし川越によるアフガニスタンの子供たちの写真展、

EM クリーンクラブの EM 泥団子作りなどに、子供たちが喚声を上げて参加していました。クリーン川越めざす会では、当日朝、クレアモール通りで集めたポイ捨てごみを分別して展示、タバコの吸殻の多さに皆驚いていました。

事業所ゾーンでは、川越環境保全連絡協議会のパネル展示、東京電力の電気自動車、武州ガスの天然ガス自動車のエコカーが並びました。さらに芝浦工業大学生によるデポジット、エコマネー、クイズラリーの環境啓発活動、菜門による有機野菜販売と盛り沢山でした。午後には雨となり、3 時頃に早めの切り上げになりましたが有意義な催しでした。（武田侃蔵）



和やかに開会の集り



環境ゾーンの自然環境部会の展示



電気自動車などの事業所ゾーン

■第13回 仙波河岸史跡公園自然観察会及び保全活動

台風13号の影響で心配された雨も上がり、朝から大勢の方々の参加をいただき、予定通り標記の自然観察会及び保全活動が開催されましたので、その状況を下記の通り報告いたします。

日時：9月16日(土) 9:00-12:00

場所：仙波河岸史跡公園

参加者：一般・ネット会員計22名

講師：植物研究家 太田泰弘さん

1)観察会

今回は太田先生の他に同じ植物研究家の愛川先生も応援して下さり、植物の名前だけでなく薬草としての効用や万葉植物としての万葉名や詠まれた歌の紹介などの熱心な説明に、皆さん感心しきりの観察会でした。

以下にその観察風景を記します。



アカメガシワの説明風景



園路を移動しながらの説明風景

観察リストは次の通りです(太田泰弘さん提供)。

観察会で記録された主な植物

「主要な木本類」

アオキ、アラカシ、イヌザクラ、イボタ、キズタ、コマユミ、サンゴジュ、シュロ、シロダモ、ツルマサキ、ネズミモチ、ハンノキ、ミズキ、ムクノキ

「草本類」

アキノノゲシ、アキノエノコログサ、アキメヒシバ、アメリカイヌホウズキ、アレチヌスビトハギ、イヌタデ、イヌキクイモ、エノコログサ、オオイヌタデ、オオケタデ、オヒシバ、カヤツリグサ、カントウヨメナ、キツネノマゴ

「万葉植物」

ムクノキ、エノキ、ヌルデ、アカメガシワ、ツククサ、ヘクソカズラ、クス

2)保全活動

今回も恒例となった外来植物のセイタカアワダチソウとオオブタクサの駆除作業と池の水質調査を行いました。



外来植物の駆除作業風景



水質調査風景

水質調査結果については、今後、ホームページに推移表を掲載します。(大辻晃夫)

■川越市における環境行政の動き

「川越市良好な環境の保全に関する基本条例」9月25日施行

中核市川越にも「環境基本条例」ができました。正式名称は「川越市良好な環境の保全に関する基本条例」。9月25日の市議会で議決され施行されました。かわごえ環境ネットでも、昨年、数回にわたり環境基本条例についての勉強会を開き、基本条例の位置付けや理念などについて提言をしました。

市議会でも、環境都市川越をうたいながら、何で今まで基本条例がなかったのかとの質問が出されました。川越市では環境基本計画を策定、毎年進行管理をしながら環境行政の進展を図ってきました。今回の条例前文にうたわれた地球環境にまで視点を広げたこと、市、市民、事業者の協働が盛り込まれたことなど、数年前の議論ではなかなか言及できないことでした。21世紀の時代にふさわしい条例と言えるようです。

格調高い前文に続き、第一章の目的、基本理念、市、市民、事業者、民間団体及び滞在者の役割や責務が明らかにされています。議会でも、観光都市を目指す川越にとって、滞在者に対する啓発についての質疑がなされました。PRと言っても決め手は乏しく、市民全体の環境に対する意識の高さが求められることとなります。

第二章は施策の展開が示され、環境基本計画の策定等が条例で明記されました。現在、第二次環境基本計画の改定に対する環境審議会の答申も得、年度内にスタートします。

第三章は各種施策について環境保全のための規制措置などや、地球環境保全の推進等きめ細かにふれています。

第五章は環境審議会についてで、今後は公募委員が選任されます。市民の活発な取り組みが期待されます。なお新審議会は11月発足で公募委員の選定に数ヶ月を要したとして、今年度中に正式スタートになるようです。

川越市ホームページ ([http://www.city.kawagoe.](http://www.city.kawagoe.saitama.jp/)

[saitama.jp/](http://www.city.kawagoe.saitama.jp/)) で本条例の概要及び本文を見ることができます。条例名を検索してください。

新清掃センターの進捗状況

今年の川越市の環境行政の目玉は新清掃センターの建設です。現在の西清掃センターの老朽化に伴い、新清掃センターの建設は焦眉の急となりました。昨年以来、機種選定作業の透明化を図りつつ、議員懇話会、市民説明会と重ねて大詰めを迎えました。

機種選定に名乗りを上げたのが9社。厳しい競争が期待されましたが、し尿処理施設の談合問題で指名停止や辞退が相次ぎ、残ったのは2社だけになりました。9月議会でも競争性について質問がなされましたが、新清掃センター建設の緊急性から見て、2社でもやむを得ないとの結論になりました。

残ったのは流動床式ガス化溶融炉の(株)神鋼環境ソリューションと、シャフト炉式ガス化溶融炉の新日本製鐵(株)の2社で、新方式の安全性や助燃材等のランニングコストについての再度の検証が必要です。11月早々に入札、12月議会に契約案件提出の予定であります。

路上禁煙・ポイ捨て禁止条例の制定

環境関係のもう一つの条例が「路上禁煙・ポイ捨て禁止条例」で、3月議会で市長が12月議会提出を表明しております。路上禁煙条例は、千代田区で制定以来、各自治体で取り組んでおりますが、対応も硬軟ばらばらです。川越市でも、市民アンケート、実態調査、団体へのアンケートと最後のまとめに入りました。市内全域での路上禁煙努力義務、路上禁煙重点地区の指定、2万円の過料導入が骨子となっています。川越市は駅の数11。それに中心市街地や観光ゾーンと、重点地区にしたいところをどう調整するのか、条例案の行方が注目されるようです。

(上記3つの記事、武田侃蔵)

■活動報告

かわごえ環境ネット理事会・専門委員会からの活動報告

●理事会

7月度(第71回)理事会は、7月25日(火)に開催された。8月度理事会は、審議事項無しで休会。9月度(第72回)理事会は、9月25日(月)に開催されました。

7月

審議は、今後の組織運営を議題とし、企画委員会、広報委員会のこれからの活動、進め方について協議しました。

広報委員会を見直し、メールニュースと会報の一体化、毎月発行の会報にすることが審議され、10月からの紙面一新となりました。

環境フォーラム実行委員会の進め方も協議され、参加者がより理解されるよう意見が出され、実行委員会で課題として検討して行くことになりました。アースデイ・イン川越2006実行委員会はネットとしては立ち上げず、個々の団体・部会で参加することとしました。

報告事項は、川越ケーブルテレビジョンから、環境活動紹介の案内があり、会員へPRすることにしました。

リスクコミュニケーションは、事業者開催で決定した時点で参加を検討します。

かわごえアジェンダ21検討委員会は、今後の企画・施策の提案を出し合い進めてまいります。また、社会と自然の各部会も活動事項が報告されました。

9月

審議事項に「ストップ温暖化SAITAMAフェア」展示参加・真岡市からの視察対応・ボランティア保険加入について・イベント参加費・入会時の会費請求等が協議されました。第5回「かわごえ環境フォーラム」「アースデイ・イン・川越2006」の取り組み、社会・自然の環境部会、広報・企画・アジェンダ21の各委員会からの取り組み進捗状況が報告されました。(会議録がで

きず、審議・報告の項目のみとした)(理事:金子晃)

●社会環境部会

7月(第4回)

7月19日に開催。市の「路上禁煙・ポイ捨て禁止条例」制定の動きに合わせ、東京の先進地、千代田区と新宿区の7月6日の視察結果報告が武田氏よりありました。初めての路上禁煙条例制定、区職員による過料制などで新聞テレビに大きく取り上げられ、周知徹底が図られている千代田区でもまだポツリポツリと吸い殻が散見されました。16人の退職警官が巡回するなど、億を越える税金を投じられています。しかし「手綱は緩められない」と担当の職員は述べていました。川越で本気に取り組んだら幾らかかるのか?市民同士の啓発無くして成果は上がらない実態がわかりました。斎藤氏からは、地球温暖化に関連する、気象庁の師岡浩子氏による講義の聴講報告がありました。

8月(第5回)

8月16日に開催。ごみ減量リサイクルグループからは、環境推進員代表との非公式協議の報告がありました。今後の定期的な協議が予定されています。また、川越ケーブルテレビからの環境関係サークル紹介の申し入れを検討、7団体からの申し出があり、川越ケーブルテレビに連絡しました。東京電力の船橋氏から、地球温暖化対策グループで提案していたマイクロ水力発電所見学の試案が出され、11月28日の実施を決めました。また、かわごえアジェンダ21勉強会の連絡と資料配布がありました。

9月(第6回)

9月20日に開催。マイクロ水力発電所見学の内容を詰め、一般市民公募のもとに、貸切りバスで参加費500円、先着40名募集を決定、広報掲載を決めました。来年2月24日に開かれる第5回かわごえ環境フォーラムの説明がありました。また、10月1日の「アースデイ・イン・川

越2006」の最終打合せ、当日のスタッフ等を決
定しました。(代表：渡辺利衛)

●自然環境部会

7・8月

7月14日、8月11日に部会が開催され、各グ
ループ活動状況の報告、アースデイ・イン・川
越への参加決定や企画委員会、広報委員会担当
者の選出などを行いました。

「残された平地林の保全グループ」では7月
23日(日)に(仮称)川越市森林公園計画地で
日本野鳥の会の大塚さんとネット会員の谷津さ
ん、稗島さんを講師に迎えて虫の観察会を開催
しました。

「水辺の自然の保全と再生グループ」では7
月15日(土)に仙波河岸史跡公園でネット会員
の谷津さんの講師で、昆虫の観察会と池の水質
調査、ロープ内のアズマネササ駆除作業を行
いました。8月7日(月)には県から働きかけら
れている希少魚、ムサシトミヨ復活の取り組み
について、環境保全課と協議をおこないました。
その結果、現状の環境保全課では人員体制から
して、本件を受ける余裕が無いと言うことがわ
かりました。8月23日(水)には仙波河岸史跡
公園でのホタルの里づくりに関して、川越ホタ
ル愛護会との話し合いをおこないました。

9月

9月8日(金)に部会が開催され、仙波河岸
史跡公園に於ける、ホタルの里づくりの協働に
ついての話し合い結果や、ムサシトミヨの復活
に関する環境保全課との話し合い結果報告と、2
006年度事業計画行動表に基づいて、各テーマ
の進捗と今後の予定の再確認が行われました。

「水辺の自然の保全と再生グループ」では9
月13日(水)に笠幡の西部自治会館で北小畔川
沿いに流れる、西部用排水路の多自然型護岸工
事について川越市河川課、自治会、環境ネット
で話し合いを行いました。

9月16日には仙波河岸史跡公園で恒例の自然
観察会と保全活動を開催しました。詳しくは記

事をご覧ください。(代表：大辻晃夫)

●広報委員会

5月20日のかわごえ環境ネット総会で、広報
体制の強化及び会員通信の充実の活動方針を受
け、社会・自然の各部会からの委員の推薦等
をお願いしました。また、編集方針、毎月のメー
ルニュースや参考資料の発送とあわせた情報の
まとめ方などの検討を重ねました。

小瀬理事長も加わって、10月発行の会員通信
からの改変を目途に協議を重ねました。その結
果、メールニュースの速報性と資料性を兼ねた
形で、月の下旬に発行、翌月と翌々月の前半の
予定等を重点に、報告は10日ごろに締め切る方
向で編集することにしました。今までの3ヶ月
ごとの発行よりは報告も早くなり、新鮮さが増
すと思われます。

また、今後は、会員向けの情報提供ばかりで
なく、かわごえ環境ネットの広報誌として、広
く市民にも訴えられるような内容にと、会員の
活発な投稿をお願いすることとしました。

(委員長：武田侃蔵)

●企画委員会

本年度より企画委員会が立ち上がりました。
メンバーは正副理事長、専門部会等から6名が
委員となり、8月11日に第1回の委員会が開催
されました。会の目的はかわごえ環境ネットの
会員の専門性を掘り起こし、多くの人に活動に
参加していただけるように、少し大きいテーマ
を3年くらいの期間をかけ、何らかの答えを出
そうとするものです。会議は3ヶ月に1回を予
定し、第2回は10月26日を予定しています。
ここでテーマの絞込みを行い、来年度の試行と
してプロジェクトリーダーの選出と広く会員の
方々にプロジェクトへの参加をお願いしたいと
考えています。(委員長：村上正明)

●かわごえ環境フォーラム実行委員会

昨年のスタッフを中心に、かわごえ環境フォ

ーラム実行委員会が結成され、8月30日、9月25日と2回の委員会が開催されました。

早くも、来年の2月24日(土)に行われる第5回かわごえ環境フォーラムに向けて具体的な検討が始まっています。今回初めての試みとして、環境活動報告会と展示・交流会を合同して、ポスター前で発表、展示(いわゆるポスターセッション)を行うことになりました。発表・展示者を11月30日まで募集していますので、積極的な応募をよろしくお願いいたします。

(小瀬博之)

●(仮称)かわごえアジェンダ21検討委員会

7月25日に第1回の検討会が開催されてから、9月4日、10月12日と計3回の会議が開催され、「(仮称)かわごえアジェンダ21」の役割や方向性、作成方法について、活発な討論が行われました。

また、9月から10月12日にかけて、「将来世代にわたり地球全体および川越市が持続的に発展していくため取り組むべき具体的な行動に関するアンケート」を実施し、15名の方々からの貴重な意見をいただきました。現在、アンケートをとりまとめており、委員からの意見を加えて具体的な行動を集約していきたいと考えています。

委員会に出席していただいた方を委員にするという形で、委員を随時増員しています。議論に加わるのがはじめての方、大歓迎です。

(委員長：小瀬博之)

その他の活動報告

●「エコライフ DAY2006 埼玉」6月の実施結果概要

6月11日を夏の統一実施日として行った「エコライフ DAY2006 埼玉」についての結果の概要を報告します。

かわごえ環境ネットの会員、または会員を通じて、合わせて468名の方に参加していただきました。全員の二酸化炭素排出削減量の合計は

492.284kg-CO₂となり、1人あたりでは1,052g-CO₂の削減量となりました。

詳細な結果は、第5回かわごえ環境フォーラムで報告する予定です。冬は、12月3日を統一実施日とするエコライフ DAY2006 埼玉が実施されます。ぜひご参加ください。(小瀬博之)

実行されている項目・されていない項目トップ3

実行されている項目トップ3

- 「冷蔵庫の扉は、すぐ閉めた。」(17g×418人)
- 「ご飯やおかずを、残さず食べた。」(16g×417人)
- 「市町村のごみ出しルールにしたがって分けた(ビン、カン、ペットボトルなど)」(115g×402人)

実行されていない項目トップ3

- 「使わないときは、コンセントからプラグをぬいた(充電器、エアコン、パソコンなど)」(59g×153人)
- 「過剰包装でないものを、考えて買った」(142g×164人)
- 「レジ袋は、もらわなかった」(48g×175人)

会員からの活動報告

●川越まつりでのポイ捨てごみ拾い(クリーン川越めざす会)

10月14日、15日の川越まつりは、天気にも恵まれて110万人の人出があったとの報道でありました。確かに15日は今までにない人の流れでした。この両日、昼間の12時から17時までは、JTが企画した「ひろえば街が好きになる運動」が行われました。東武鉄道、東京国際大学生の協力で、鏡山酒造跡地にテントを張り、通行人にごみ袋と軍手を渡し、一回りして戻ると飲みものを進呈するもので、14日は1,000人、15日は2,000人が参加したとのことでした。

クリーン川越めざす会では、17時から21時まで、「小江戸川越ボランティア」の赤い法被を着て、人ごみの中ごみ集めをしました。混んで歩けないところは辻に大きいごみ袋を持って立って集めました。露天の食べ物容器からビン、

カン、ペットボトルと、集めたごみの多さに驚くばかりです。14日の参加者は19人、15日は

18人、まことにご苦労様でした。(武田侃蔵)



JTの大掛かりなキャンペーン



赤い法被の後ろは集めたごみの山

■おしらせ

募集

●第5回かわごえ環境フォーラム(2月24日土曜日)の発表・展示者募集

2007年2月24日(土曜日)に川越市市民会館で開催される「かわごえ環境フォーラム」のイベントである「環境活動報告会」における発表・展示者を募集しています。申込の締切は11月30日(木)です。ふるってご応募ください。詳細は、会員の方については10月6日付け郵送資料に同封の募集要項をご覧ください。また、かわごえ環境フォーラムホームページ(<http://forum.kawagoekankyo.net/>)では、募集要項に加え、過去の開催経過を掲載しています。

●【予告】エコライフ DAY2006 埼玉を12月3日に実施します

くらしの中の地球温暖化防止活動の普及をめざして「エコライフ DAY2006 埼玉」が、6月に続き12月3日を統一実施日として行われます。詳しくは、11月下旬配送予定の資料でお知らせします。会員内外の多くの参加をぜひお願いいたします。

かわごえ環境ネット主催・出展イベント

会員以外の方の参加については、かわごえ環

境ネット事務局にお問い合わせください。詳細が書かれていないものは改めておしらせします。

★【参加】第4回環境シンポジウム

パネル出展(予定)と本会理事長のあいさつがあります。

日時: 11月5日(日) 13:30-16:00

場所: パイオニア(株)総合研究所(鶴ヶ島市富士見6-1-2)

主催: つるがしま環境ネットワーク

★湧水探訪会

絶滅危惧種に指定されている「ムサシトミヨ」「ミヤコタナゴ」の保存と危険分散化を図るため、自然環境部会では、川越市内に受け入れが可能なさまざまな観点から検討しているところです。それには、湧水池の保存管理が必須条件となっています。そこで、川越市内に点在する貴重な湧水の実体をみなさまと一緒に探りたいと企画しました。

日時: 11月11日(土) 9:00-12:00(小雨決行)

集合場所: 延命寺(川越市笠幡4451, JR 笠幡駅から徒歩7分)

参加費: 100円(保険代)

コース: 延命寺出発→霞ヶ関湧水路→南小

畔川湧水→西部用水路→延命寺解散
持ち物：飲み物（弁当）、筆記用具、手袋、
帽子、雨具など

問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局

★【出展】第5回 北公民館かんきょう祭り

午前中は、環境関係の識者の講演。①川越市の環境基本条例について②かわごえアジェンダ21について③新清掃センターについて④路上禁煙・ポイ捨て禁止条例について。会場内に興味ある展示がいっぱい。午後は合唱などの発表。桜草の鉢を進呈。

日時：11月18日（土）9:00-16:00

場所：北公民館（川越市氷川町107）

主催：北公民館かんきょう祭り実行委員会

★【出展】ストップ温暖化 SAITAMA フェア

本会会員の家庭における地球温暖化防止活動の実践結果が展示されます。

日時：11月19日（日）

場所：さいたま新都心駅自由通路（コンコース）

主催：埼玉県地球温暖化防止活動推進センターほか

★マイクロ水力発電所見学会

日時：11月28日（火）7:50 川越駅西口暫定自由広場（旧テニスコート）横集合-8:00 出発-17:30 帰着予定

場所：川崎市江ヶ崎発電所・横浜火力発電所・電気史料館

定員：40名

参加費：500円

持ち物：弁当・飲み物

申込方法：11月1日（水）9:00からかわごえ環境ネット事務局まで電話等で受付

★仙波河岸史跡公園自然観察会と保全活動（第14回）

日時：12月2日（土）9:00-12:00（荒天中止）

場所：仙波河岸史跡公園（川越市仙波町4-21-2）

★第5回 かわごえ環境フォーラム

日時：2007年2月24日（土）9:30-16:00

場所：川越市市民会館（川越市郭町1-18-7）

理事会・専門委員会

●の部会は会員全員が対象、◆の理事会・委員会は但し書きがない場合は委員のみが対象となります。

◆企画委員会（第2回）

日時：10月26日（木）15:30-17:00

場所：川越市役所3階3A会議室（川越市元町1-3-1）

◆理事会（第73回）

日時：10月26日（木）18:00-20:00

場所：川越市役所3階3A会議室

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第3回）

日時：10月27日（金）13:00-15:00

場所：川越市役所7階7C会議室

以上の3つの会議に関する11月以降の開催日時・場所は、決まり次第かわごえ環境ネットホームページまたは本誌に掲載します。

●自然環境部会（2006年11月度）

日時：11月10日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所地階 修養室

原則として毎月第2金曜日15:00-17:00に定例会を開催しています。12月は8日に市役所7B会議室で開催します。

◆広報委員会（2006年11月度）

日時：11月14日（火）17:30-19:30

場所：川越市役所5階打ち合わせスペース

●社会環境部会（2006年11月度）

日時：11月15日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所7階7C会議室

原則として毎月第3水曜日15:00-17:00に定例会を開催しています。12月は、20日に市役所7B会議室で開催します。

◆かわごえアジェンダ21検討会（第4回）

日時：11月16日（木）9:30-11:30

場所：川越市役所7階 7C会議室

委員を随時追加しています。興味のある方はどなたでもご参加ください。行動提案に関する委員からの意見の確認とアジェンダの全体構成についての検討を行います。

会員・関連団体等の主催行事

●(財)埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ先：笠原啓一 Tel.049-222-0957

伊佐沼探鳥会

日時：11月12日(日) 10:00-12:00

場所：伊佐沼の西側にある蓮見橋集合

●特定非営利活動法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ先：谷津弘子 Tel.049-224-9118

自然観察会

日時：11月12日(日)

森林公園かんさつ会

日時：11月20日(日)

場所：10:20 ごろまでに公園南口から入園

●クリーン川越めざす会

問い合わせ先：武田侃蔵 Tel.049-222-0786

「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

日時：11月7日(火)・9日(木)・25日(土)
13:30-

場所：川越駅東口アトレ横歩道橋下集合
市内中心部の清掃(毎月第3日曜日)

日時：11月19日(日) 9:30-

場所：本川越駅交番横集合

●川越市

問い合わせ先：かわごえ環境ネット事務局
クリーン川越市民運動(ごみゼロ運動)

日時：10月29日(日)

場所：各地

主催：クリーン川越市民運動推進協議会

広報委員会からのおしらせ

●会員からの行事、募集等の投稿を募集

本会会員が主催する公開イベントや募集に関する情報を、下記の要領を参考にお寄せください。11月は9日(木)までにかわごえ環境ネット事務局へ到着した原稿を、20日(月)発行予定の広報に掲載します。投稿の際には、テキストデータをいただくと編集がたいへん助かります。

<イベント掲載項目> 投稿者の団体名および氏名、イベントの名称、概要、日時、場所(わかれば住所も)、持ち物・参加費・申込方法等、主催者、問い合わせ先(担当者のE-mail,電話,氏名など)、関連するホームページ

●かわごえ環境ネットホームページのご案内

かわごえ環境ネットの最新情報から過去の情報まで、さまざまな情報がかわごえ環境ネットホームページ(<http://kawagoekankyo.net/>)に蓄積されています。ぜひご活用ください。「月刊かわごえ環境ネット」もカラーで入手できます。

なお、バーコードリーダーつき携帯電話で下のQRコードを読み込めば、携帯端末用ページにアクセスできます。ぜひブックマークしてください。次のアドレスでもアクセスできます。

<http://i.kawagoekankyo.net/>



編集後記

「かわごえ環境ネット会員通信」を改題し、「月刊 かわごえ環境ネット」の創刊号をお届けします。資料性の観点から、部会報告等も3か月分をまとめましたが、今後は先々月分が順次載るようになると、報告内容もきめ細かくなります。だんだん皆様のご期待に添えるような形にしたいと思います。ご協力を宜しく。(T)